

② 洪積層

(ア) 火山灰質粘性土層

ごみ処理施設が計画されている丘陵部の表層に分布し、現在、果樹園や畑として利用されている。表層から0.5～1.0m程度は砂質シルトを主体とし、以深では、均質な火山灰質粘性土が分布する。本層の最下部には風化して土砂化した軽石層が0.15～1.0m程度の層厚で分布している。

(イ) 砂質土層

ごみ処理施設が計画されている丘陵部に分布しており、前述の火山灰質粘性土層の下位に分布する層で、礫混じりシルト質砂を主体とする層である。全体的に細～中砂を主体とし、シルトを混入する基質に、風化した凝灰岩や玄武岩などの礫を含む。全体に不均質で局部的にシルトが優勢となる箇所も認められる。層厚は約1.5～2.5m程度で、火山灰質粘性土層の下位に分布する他、後述の粘土混じり砂礫層中に1～2m程度の層として分布する。

(ウ) 粘土混じり砂礫層

ごみ処理施設が計画されている丘陵部に分布しており、前述の砂質土層の下位に分布する層で、シルト混じり砂礫及びシルト質砂礫を主体とする。礫は花崗岩や玄武岩、凝灰岩で、御坂層群に由来する礫であり、礫径はφ10～100mm程度である。礫はおおむね風化しており、粘土状～砂状を呈する風化礫も認められる。基質は火山灰質粘性土である。

(エ) 粘性土層

ごみ処理施設が計画されている丘陵部に分布しており、前述の粘土混じり砂礫層の挟在層として分布する粘性土層で、火山灰質シルトを主体とする。全体にやや不均質で一部には細礫や中～細砂を含む。層厚は0.7～1.0m程度の薄層であるが、一部は約2.5mの層厚を示す。

(オ) 粘土混じり砂礫層(Dg1)

ごみ処理施設が計画されている丘陵部に分布しており、前述の粘土混じり砂礫層の下位に分布する層で、シルト質砂礫及び礫混じりシルトを主体とする。全体に不均質であり、シルトの割合に偏りがある。礫は花崗岩や玄武岩、凝灰岩で、御坂層群に由来する礫であり、礫径はφ20～100mm程度である。礫は全体に新鮮で硬質であり、基質は火山灰質粘性土である。対象事業実施区域における支持層と考えられる。

(4) 重要な地形・地質

地形 RDB 第1集^{※1}によると、対象事業実施区域より北西側約2kmの曾根丘陵の断層地形（カテゴリーⅠ：変動地形、ランクC：現在著しく破壊されつつある地形）が、危機にある地形に選定されている。

また、地形 RDB 第2集^{※2}によると、対象事業実施区域より北西側約2kmの曾根丘陵の新时期断層変位地形（カテゴリーⅠ：変動地形、ランクC：現在著しく破壊されつつある地形）及び北東側約2～14kmの一宮町周辺の扇状地群（カテゴリーⅢ：河川的作用や風化・浸食によってできる地形、ランクB：現時点での低強度の破壊を受けている地形）が、保全すべき地形に選定されている。

しかし、対象事業実施区域には上記のRDBに示される重要な地形・地質は分布していない。

※1：「日本の地形レッドデータブック 第1集新装版－危機にある地形－」（小泉武栄、青木賢人、2000年12月）

※2：「日本の地形レッドデータブック 第2集－保全すべき地形－」（小泉武栄、青木賢人、2002年3月）



出典) 山梨県：土地分類基本調査図（都道府県土地分類基本調査），昭和59年3月

凡 例

| | | |
|---|--|--|
| <p>山地および丘陵地の土壌</p> <p>黒ボク土壌</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 下部4統 ■ 御坂2統 ■ 御坂1統 ■ 河口1統 ■ 三珠1統 ■ 下部1統 ■ 中道1統 ■ 足和田2統 ■ 勝沼1統 ■ 春日居1統 ■ 網倉2統 <p>乾性褐色森林土壌</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 網倉1統 ■ 三珠2統 ■ 下部2統 ■ 中道2統 ■ 足和田3統 ■ 勝沼2統 ■ 春日居2統 ■ 御坂3統 ■ 河口3統 ■ 三珠3統 ■ 足和田4統 <p>褐色森林土壌</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 網倉1統 | <p>台地および低地の土壌</p> <p>厚層黒ボク土壌</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 赤井統 ■ 七本桜統 ■ 黒ボク土壌 ■ 大川口統 ■ 多湿黒ボク土壌 ■ 越路原統 ■ 榎木沢統 ■ 淡色黒ボク土壌 ■ 丸山統 ■ 岩屋統 ■ 氷見統 ■ 笠山統 ■ 最上統 <p>褐色低地土壌</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 中島統 ■ 荻野統 <p>粗粒灰色低地土壌</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 追子野木統 ■ 二条統 ■ 栢山統 ■ 豊中統 | <p>灰色低地土壌</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 加茂統 ■ 真宮統 ■ 細粒グライ土壌 ■ 保倉統 ■ 琴浜統 ■ 粗粒グライ土壌 ■ 八幡統 ■ 竜北統 ■ 水上統 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 泉南統 ■ 長笹統 ■ 小坂統 ■ 東谷統 ■ 長笹統 ■ 小坂統 ■ 東谷統 ■ 追子野木統 ■ 二条統 ■ 栢山統 ■ 豊中統 |
|---|--|--|

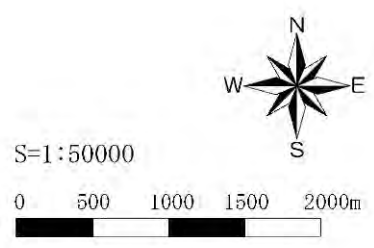
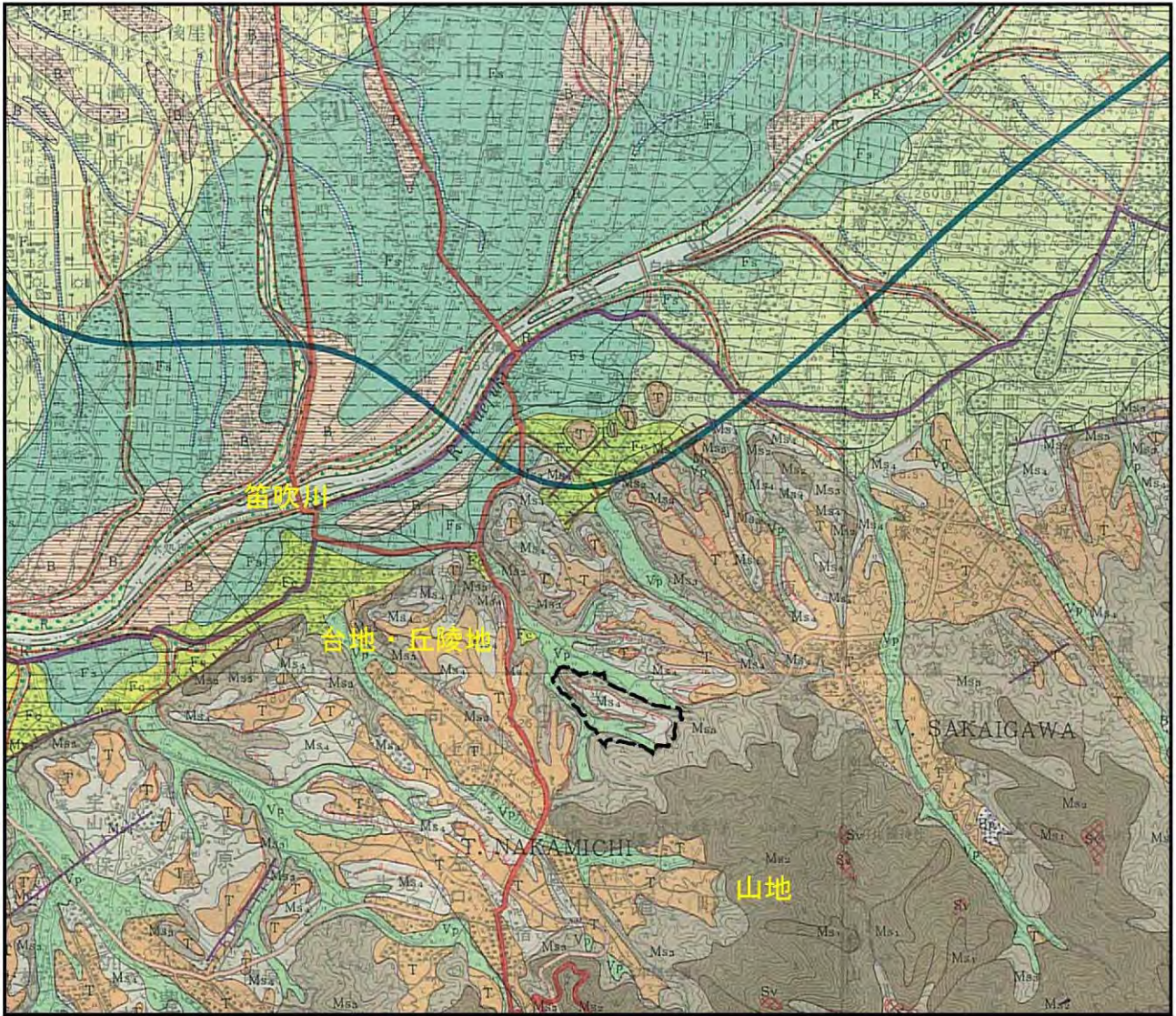


図3-2-12 土壌図



出典) 山梨県：土地分類基本調査図（都道府県土地分類基本調査），昭和59年3月

凡 例

火山山地

- 火山山麓地Ⅱ
- 熔岩流池
- 火砕流台地
- 急崖

山地・丘陵地斜面

- 山地斜面 $>40^\circ$
- 山地斜面 $30^\circ \sim 40^\circ$
- 山地斜面 $15^\circ \sim 30^\circ$
- 山地斜面 $<15^\circ$
- 山頂及び山稜平坦地、顕著な凸型斜面
- 顕著な凹型斜面
- 地すべり
- 崩壊地

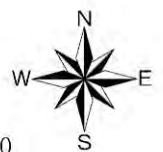
台地・低地

- 低地 $8^\circ \sim 3^\circ$
- 低地 $3^\circ \sim 1/2^\circ$
- 低地 $1/2^\circ \sim 1/4^\circ$
- 低地 $<1/4^\circ$
- 砂礫台地
- 扇状地
- 開析扇状地
- 小扇状地
- 氾濫平野、後背低地
- 旧中州、ポイントバー
- 洪水堆積物(明治40年)
- 旧流路
- 谷底平野
- 土石流地形
- 古期土石流斜面

- 現河床
- 崖、比高50~100m
- 崖、比高10~50m
- 崖、比高10m以下

その他

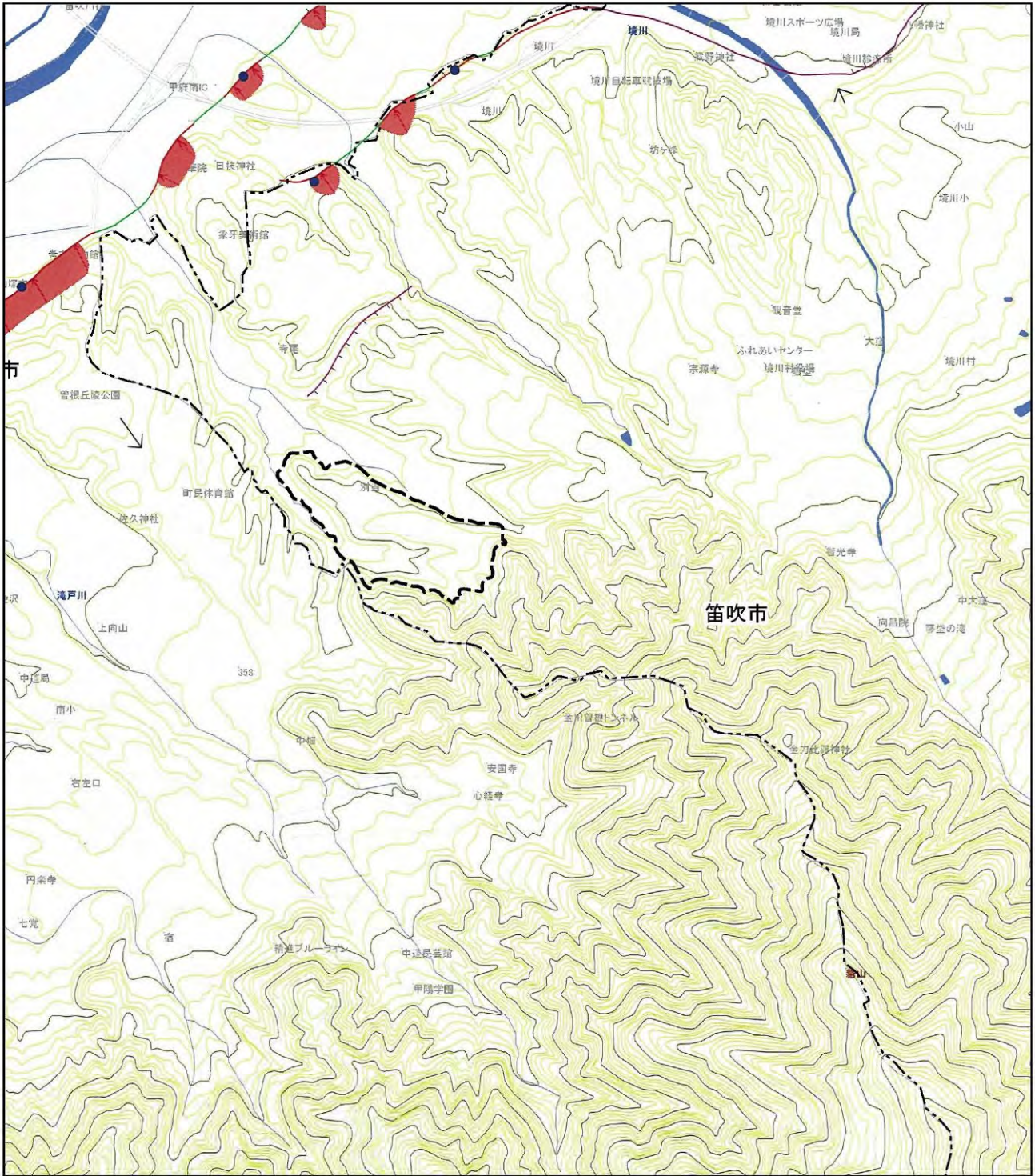
- 人工平坦地
- 活断層、顕著なリフト
- 堤防
- 主要分水界
- 地形界
- 高速自動車道
- 国道
- 主要地方道
- 県道
- 対象事業実施区域







S=1:50000

0 500 1000 1500 2000m

図3-2-13(1) 地形分類図



資料) 東京大学出版会：活断層詳細デジタルマップ, 2002年5月

| 凡 例 | |
|---|----------|
|  | 対象事業実施区域 |
|  | 行政界 |
|  | 確実(縦ずれ) |
|  | 確実(横ずれ) |
|  | 活撓曲 |
|  | 不確か(縦ずれ) |
|  | 不確か(横ずれ) |
|  | 不明(縦ずれ) |
|  | 不明(横ずれ) |

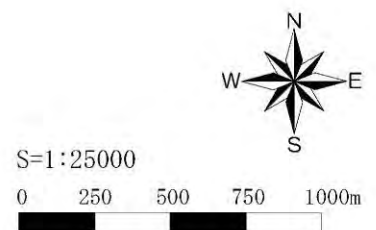
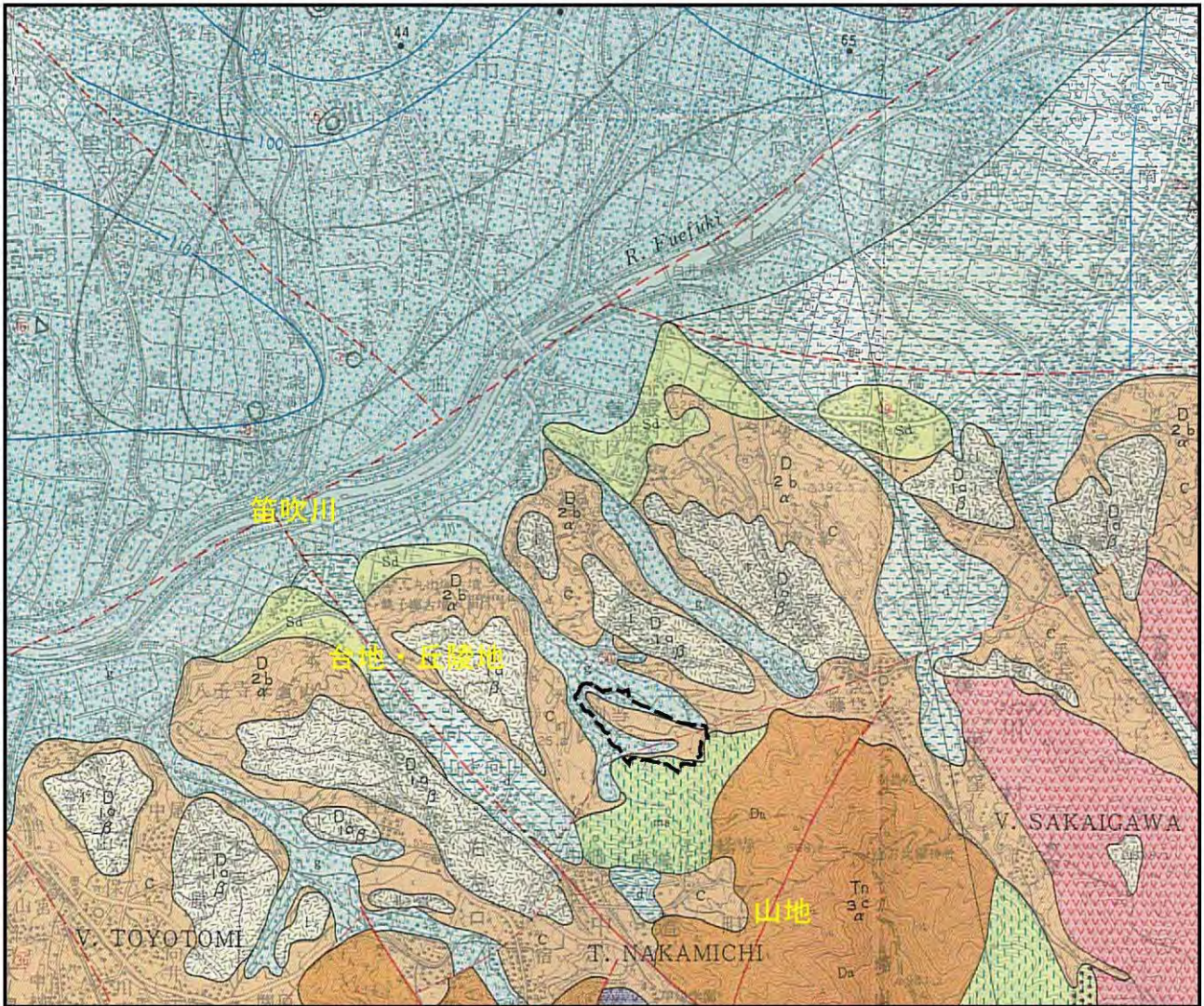


図3-2-13(2) 活断層位置図



出典) 山梨県：土地分類基本調査図（都道府県土地分類基本調査），昭和59年3月

凡 例



図3-2-14 表層地層図

4) 植物、動物及び生態系

(1) 植 物

① 植 生

「第3回自然環境保全基礎調査（植生調査）」（環境庁, 1985年）における対象事業実施区域及びその周辺の現存植生図を図3-2-15に示す。

対象事業実施区域及びその周辺の植生は、主に中央から東側にかけて桑園、南西側の低地部に水田雑草群落が分布し、一部ヤブツバキクラス域代償植生としてクヌギーコナラ群集及びアカマツ植林が分布する。

なお、対象事業実施区域及びその周辺を踏査した結果、現在は主に果樹園、畑及び水田が主体であり、南東側の休耕田の一部は湿地状となった地域がみられる。

② 植物相

「2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物」（山梨県, 平成17年）において、対象事業実施区域周辺のメッシュ（メッシュ番号30, 31, 39, 40）（1メッシュは10km×10km）において確認されている種（絶滅種及び情報不足の種は除く）は表3-2-29に示すとおりである。

③ 特定植物群落

「第3回自然環境保全基礎調査」（環境庁, 平成元年）によると、対象事業実施区域の南側約4kmの位置に、滝戸山のアオギリ林及び滝戸山のシラカシ林が確認されているが、対象事業実施区域及びその周辺には特定植物群落は分布していない（図3-2-16）。

④ 巨樹・巨木林

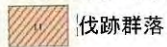
「第4回自然環境保全基礎調査」（環境庁, 平成7年）によると、図3-2-17に示すとおり、巨樹として対象事業実施区域東側約3km及び南東側約5kmの位置にケヤキ（呼称なし）、また、北東側約5kmの位置に荒神堂のケヤキが存在しているが、対象事業実施区域及びその周辺には巨樹・巨木林は分布していない。

表 3-2-29 山梨県レッドデータブック掲載種（植物、対象事業実施区域周辺）

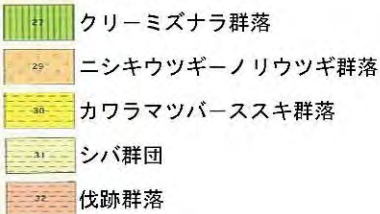
| 種名 | 科名 | カテゴリー | | 生育環境 |
|--------------------|----------|-----------|-----------|---|
| | | 山梨県 | 環境省 | |
| イワツクバネウツギ | スイカヅラ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 II 類 | 山地帯岩場に生育。 |
| ウチョウラン | ラン科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 II 類 | 山地帯の岩上に生育。 |
| オノエラン | ラン科 | 絶滅危惧 IA 類 | — | 山地帯の草地や岩場に生育。 |
| コシノコバイモ | ユリ科 | 絶滅危惧 IA 類 | — | 「日本の野生植物 I」に、日本の分布は福島県・新潟県・静岡県と記載されているが本県でも山地の林下に生育を確認。 |
| ジョウロウスゲ | カヤツリグサ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 IB 類 | 湖の砂地に生息。 |
| タカサゴソウ | キク科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 II 類 | 低地帯～山地帯の乾いた草地や荒地に生育。 |
| ユウシュンラン | ラン科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 II 類 | 山地～ブナ帯下部のやや湿った腐植土の多い樹林下に生える。森林の伐採など生育環境の変化による減少が危惧される。 |
| イヌノフグリ | ゴマノハグサ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 II 類 | 畑や道ばた、石垣の間に生育。 |
| カザグルマ | キンポウゲ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — | 藪の縁、または垣根などに生育。 |
| セツブンソウ | キンポウゲ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 II 類 | 落葉広葉樹林下や林縁で、土壌は湿り気のある砂礫地に生育。 |
| チャセンシダ | チャセンシダ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — | 石垣などの石の隙間に生育。 |
| ハマスゲ | カヤツリグサ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 II 類 | 空き地や河岸の日当たりのよい砂地に生育。 |
| マコモ | イネ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — | あまり川幅の広くない、泥砂地の水辺に生育。 |
| ミスミソウ | キンポウゲ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — | 山地の樹林下に生育。 |
| ミソハギ | ミソハギ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — | 全国各地に分布し、湿原などに生育。 |
| モクゲンジ | ムクロジ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — | 日本全土に点在して分布する。本県では、低山帯の斜面沿いの砂礫地に生育。 |
| ヤシャビシヤク | ユキノシタ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 II 類 | 山地帯上部のブナなどの老木に着生。 |
| ヨコグラノキ | クロウメモドキ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — | 沢沿いの岩場や傾斜地に生育。 |
| イワシャジン | キキョウ科 | 絶滅危惧 II 類 | — | 中部地方東南部、関東地方西部に分布し、やや湿り気のある山地の岩場などに生育。 |
| ウメウツギ | ユキノシタ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 | 山地帯の岩場に生育。石灰岩地に多いとされるが、本県では古い安山岩地に多い。 |
| エビネ | ラン科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 | やや湿った低山の林床に生育。 |
| カギガタアオイ | メギ科 | 絶滅危惧 II 類 | — | やや湿った亜高山帯の林縁に生育。 |
| カワラニガナ | キク科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 | 河原の礫地に生育。富士川系に多い。 |
| カンガレイ | カヤツリグサ科 | 絶滅危惧 II 類 | — | 沼や湿地に生育。 |
| ギンラン | ラン科 | 絶滅危惧 II 類 | — | 山地の樹林下に生育。 |
| ゼンティカ (ニッコウキスゲ) | ユリ科 | 絶滅危惧 II 類 | — | 山地帯の草原に生育。 |
| タカアザミ | キク科 | 絶滅危惧 II 類 | — | 本州以北から北海道に分布し、原野に生育。 |
| タコノアシ | ユキノシタ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 | 湖の泥湿地や湿り気のある休耕地。 |
| ツメレンゲ | ベンケイソウ科 | 絶滅危惧 II 類 | 準絶滅危惧 | 日当たりのよい岩上、河川の石積みの土手、また古い屋根の上に生える。 |
| ハコネコメツツジ | ツツジ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 | 山地帯上部～亜高山帯の岩場。 |
| ハシドイ | モクセイ科 | 絶滅危惧 II 類 | — | 山地帯の谷間、谷川沿いの湿ったところに生育。 |
| ヒメハッカ | シソ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 | 湿地帯に生育。 |
| フユザンショウ | ミカン科 | 絶滅危惧 II 類 | — | 関東以西の暖地山林。生育個体数は少ない。 |
| ヤマナシウマノ ミツバ | セリ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 IB 類 | 山地の尾根の明るい樹林下や路傍。御坂山系に多い。 |
| イヌハギ | マメ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 | 全国各地に分布し、日当たりのよい原野に生育。県内では、金川の河川敷に多い。 |
| オオバボダイジュ | シナノキ科 | 準絶滅危惧 | — | 山地帯落葉広葉樹林中に生育。 |
| オナモミ | キク科 | 準絶滅危惧 | — | 平地の道端や休耕地に生育。 |
| ツルシロカネソウ | キンポウゲ科 | 準絶滅危惧 | — | 神奈川県～奈良県の湿り気のある山地に生育。本県は分布の北限にあたり、県内の分布は富士山麓に偏る。 |
| ヒメスミレサイシン | スミレ科 | 準絶滅危惧 | — | 山地帯の落葉広葉樹林下に生育。 |
| スジヌマハリイ | カヤツリグサ科 | — | — | 水湿地の砂地に生育個体数は少ない。 |

凡 例

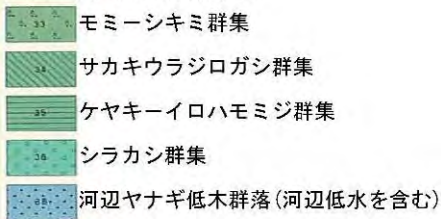
亜寒帯、亜高山帯代償植生



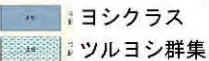
ブナクラス域代償植生



ヤブツバキクラス域自然植生



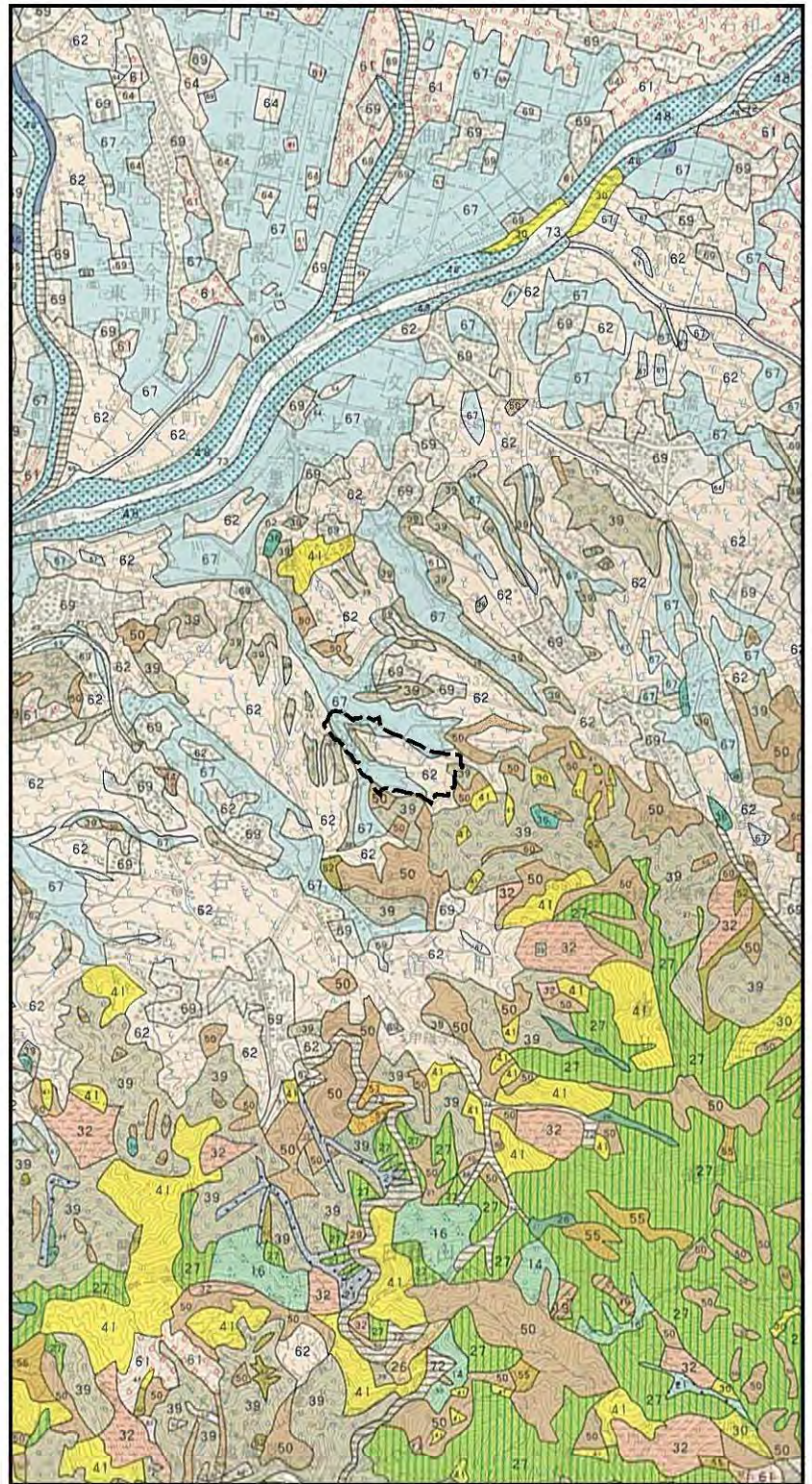
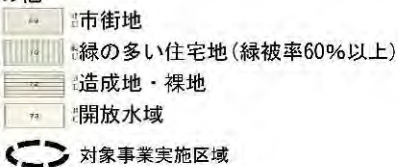
河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生(各クラス共通)



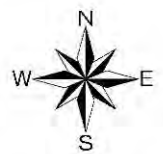
植林地、耕作地植生(各クラス共通)



その他



出典) 環境庁：現存植生図(第3回自然環境基礎調査(植生調査))
山梨県，昭和60年



S=1:50000

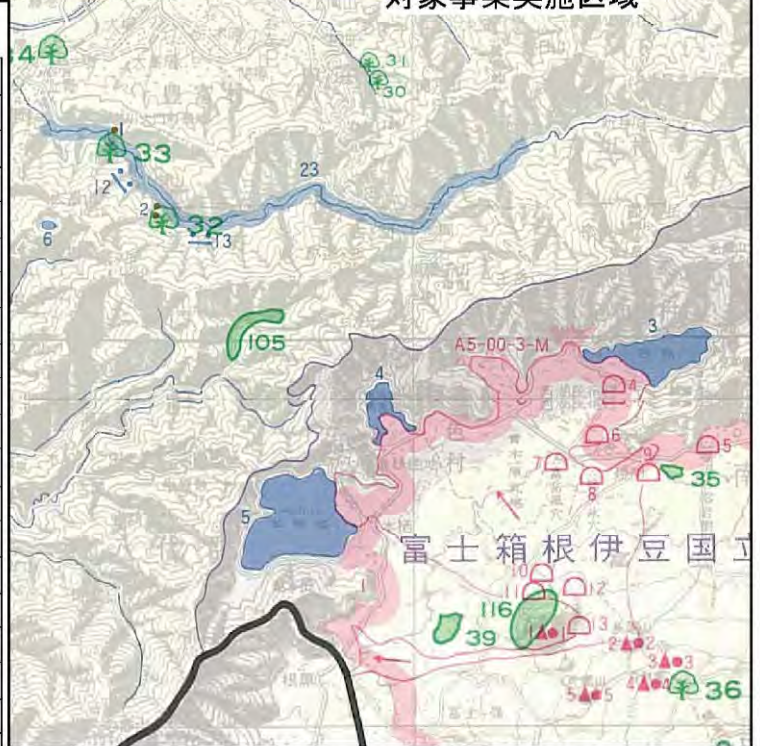


図3-2-15 現存植生図

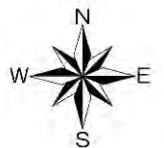


| 凡 例 | |
|-----|---|
| | 特定植物群落 Specific plant community |
| | A1-01 火山群 Quaternary volcano (Quaternary volcanic group) |
| | A1-02 火山 Component volcano |
| | A1-03 火山性高原(台地状) Volcanic plateau |
| | A1-04 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-05 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-06 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-07 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-08 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-09 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-10 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-11 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-12 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-13 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-14 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-15 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A1-16 火山性高原(台地状をなさないもの) Volcanic highland |
| | A2-01 非火山性高原(台地状) Table plateau |
| | A2-02 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-03 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-04 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-05 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-06 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-07 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-08 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-09 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-10 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-11 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-12 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-13 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-14 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-15 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-16 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-17 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-18 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A2-19 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-01 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-02 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-03 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-04 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-05 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-06 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-07 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-08 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-09 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-10 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-11 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-12 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-13 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-14 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-15 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-16 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-17 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-18 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A3-19 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A4-01 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A4-02 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |
| | A5-00 非火山性高原(台地状をなさないもの) Highland |

| | |
|--|---|
| | B1-01 峡谷・溪谷 Gorge・Valley |
| | B1-02 河成段丘 Fluvial terrace |
| | B1-03 自由蛇行河川 Free meander |
| | B1-04 穿入蛇行河川 Incised meander |
| | B1-05 断崖・岩壁 Cliff |
| | B1-06 淵 Pool |
| | B1-07 岩峰・岩柱 Tor |
| | B1-09 陥穴群 Potholes |
| | B1-10 滝 Water fall |
| | B1-11 天然橋・岩門・石門 Natural bridge |
| | B2-01 湖・沼 Lake, Pond |
| | B2-02 湿原 Moor |
| | B3-01 溺れ谷 Drowned valley |
| | B3-02 海成段丘 Marine terrace |
| | B3-03 断層海岸 Fault coast |
| | B3-05 多島海 Archipelago |
| | B3-06 隆起サンゴ礁 Elevated coral reef |
| | B3-08 砂嘴 Sand spit |
| | B3-09 砂州 Sand bar |
| | B3-10 陸けい砂州 Tomboles |
| | B3-11 砂丘 Sand dune |
| | B3-12 海食崖 Sea cliff |
| | B3-13 波食台 Wave-cut bench |
| | B3-15 海食洞 Sea cave |
| | B3-16 岩門 Natural bridge |
| | B3-17 潮吹穴 Blow hole |
| | B3-18 陥穴群 Potholes |
| | B3-19 潮流・渦流 Tidal current・Tidal vortices |
| | B4-01 節理 Joint |
| | B4-02 岩脈 Dike |
| | B4-03 湧泉群 Springs |
| | A5-00 地震断層・低断層崖 Earthquake fault・Scarlet |
| | A5-00 地滑り・山崩れ Landslide・Landslip |
| | A5-00 原生流域 Uninfluenced river basin |
| | A5-00 最下流上で不可能横断工作物 Lowest shutter dam |
| | A5-00 魚類調査地点(番号) Fish surveying points |
| | A5-00 自然海岸(浜) Natural beach |
| | A5-00 自然海岸(浜以外) Natural rocky coast |
| | A5-00 国立公園 National park |
| | A5-00 国定公園 Quasi National park |
| | A5-00 自然環境保全地域 Nature conservation area |
| | A5-00 原生自然環境保全地域 Wilderness area |



出典) 環境庁: 山梨県自然環境情報図 (第3回自然環境保全基礎調査), 1989年



S=1:200000

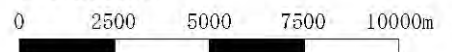


図3-2-16 自然環境情報図 (1)



| 凡例 LEGEND | |
|-----------|---|
| | 巨樹 Big tree |
| | 巨木林 (並木・樹林) Big-tree-forest |
| | 調査対象河川 Surveyed river |
| | 原生流域 Wilderness water-shed area |
| | 最下流遡上不可能地点 Lowest shutter dam |
| | 魚類調査地点 Fish surveying point |
| | 自然性の高い連続する河川区間 Continuous undisturbed river zone |
| | 調査対象湖沼 Surveyed lake and marsh |
| | 非改変湖沼 Non-developed lake |
| | 特定湖沼 Specific surveyed lake |
| | 国立公園 National park |
| | 国定公園 Quasi National park |
| | 原生自然環境保全地域 Wilderness area |
| | 自然環境保全地域 Nature conservation area |



出典) 環境庁：山梨県自然環境情報図 (第4回自然環境保全基礎調査), 1995年



S=1:200000

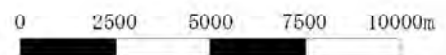


図3-2-17 自然環境情報図 (2)

(2) 動物

① 哺乳類

「第4回自然環境保全基礎調査」(環境庁,平成7年)の「自然環境情報図」及び「第6回自然環境保全基礎調査」(環境省,平成16年)の「種の多様性調査 哺乳類分布調査」によると対象事業実施区域を含むメッシュにおいてはニホンイノシシ、アナグマ、カモシカ、キツネ、ツキノワグマ、ニホンジカ、タヌキの生息が確認されているが、ニホンザルは確認されていない。

「山梨県の野生動物」(山梨県,昭和55年3月)によると、旧境川村においては、コウモリ(家)、コウモリ(森)、ムササビ、ノウサギ、ホンドタヌキ、ニホンイタチ、ニホンアナグマが確認され、旧中道町においては、ニホンリス、ホンシュウモモンガ、ノウサギ、ホンドタヌキ、ニホンイタチ、ニホンアナグマが確認されている。

「山梨県の野生鳥獣生息調査」(山梨県,平成9年)によると、平成6年度調査で旧境川村においては、ニホンザル、コウモリ、ヤマネ、ムササビ、アナグマ、ノウサギ、キツネ、イタチ、リス、イノシシが確認され、旧中道町においては、コウモリ、ノウサギ、タヌキ、キツネ、リス、イノシシが確認されている。

「環境資源調査 調査報告」(山梨県森林環境部,2003年3月)によると、対象事業実施区域及びその周辺の旧境川村及び旧中道町においては、表3-2-30に示す種が確認されており、このうちニホンツキノワグマとニホンリスが絶滅のおそれのある個体群(山梨県)に指定されている。

表 3-2-30 哺乳類の確認状況(旧境川村、旧中道町)

| 種名 | 科名 | カテゴリー | |
|-----------|---------|----------------|-----|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| アブコウモリ | ヒナコウモリ科 | — | — |
| ニホンアナグマ | イタチ科 | — | — |
| ホンドイタチ | イタチ科 | — | — |
| ホンドテン | イタチ科 | — | — |
| ホンドキツネ | イヌ科 | — | — |
| ホンドタヌキ | イヌ科 | — | — |
| ニホンイノシシ | イノシシ科 | — | — |
| ノウサギ | ウサギ科 | — | — |
| ニホンカモシカ | ウシ科 | — | — |
| ニホンツキノワグマ | クマ科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |
| ニホンジカ | シカ科 | — | — |
| ハクビシ | ジャコウネコ科 | — | — |
| クマネズミ | ネズミ科 | — | — |
| ハツカネズミ | ネズミ科 | — | — |
| アカネズミ | ネズミ科 | — | — |
| ハタネズミ | ネズミ科 | — | — |
| アシマモグラ | モグラ科 | — | — |
| ムササビ | リス科 | — | — |
| ニホンリス | リス科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |

資料) 山梨県 森林環境部:環境資源調査 調査報告,2003年3月

哺乳類について、山梨県全体の「2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物」（山梨県, 平成 17 年）に掲載されている種（絶滅種及び情報不足の種は除く）を表 3-2-31 に示す。

表 3-2-31 山梨県レッドデータブック掲載種（哺乳類、山梨県全体）

| 種 名 | 科 名 | カテゴリー | |
|---|------------|-----------|----------------|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| ホト ^ト ノコウモリ | ヒナコウモリ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 IB 類 |
| クビ ^ノ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 IB 類 |
| フジ ^ノ ホヒゲ ^ノ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| シノ ^ノ ホヒゲ ^ノ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 IB 類 |
| モリア ^ラ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 IB 類 |
| アズ ^ミ トカ ^リ ネズ ^ミ | トガリネズミ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 準絶滅危惧 |
| フジ ^ノ ミス ^ラ モグラ | モグラ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 準絶滅危惧 |
| ヒキ ^ノ コウモリ | オヒキコウモリ科 | 絶滅危惧 II 類 | 情報不足 |
| ニホ ^ノ コテ ^ノ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| ニホ ^ノ コテ ^ノ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| カク ^ノ ヤコウモリ | ヒナコウモリ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 IB 類 |
| ニホ ^ノ ウサ ^ギ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| ヒナ ^ノ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| ヤマ ^ノ コウモリ | ヒナコウモリ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| モモン ^ノ ロコウモリ | ヒナコウモリ科 | 準絶滅危惧 | — |
| ホト ^ト モモン ^ガ | リス科 | 準絶滅危惧 | — |
| ヤマ ^ネ | ヤマネ科 | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| ホン ^ノ シュウ ^カ ヤネズ ^ミ | ネズミ科 | 要注目種 | — |
| カ ^リ ネズ ^ミ | トガリネズミ科 | 要注目種 | — |
| ニホ ^ノ キ ^カ シ ^ラ コウモリ | キクガシラコウモリ科 | 要注目種 | 普通種 |
| ニホ ^ノ コ ^キ カ ^シ ラ ^ノ コウモリ | キクガシラコウモリ科 | 要注目種 | 絶滅危惧 II 類 |
| ニホ ^ノ ツ ^ク ノ ^ワ ク ^マ | クマ科 | 要注目種 | 絶滅のおそれのある地域個体群 |
| ニッ ^コ ウ ^ム サ ^サ ビ ^ノ | リス科 | 要注目種 | — |
| コウ ^ハ モ ^グ ラ | モグラ科 | 要注目種 | — |

資料) 山梨県：2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物, 平成 17 年

② 鳥 類

「山梨県の野生鳥獣生息調査」(山梨県,平成9年)によると、旧境川村及び旧中道町においては、昭和55・56年度調査で猛禽類としてはオオタカ、チョウゲンボウ、ノスリ、ハチクマ、クマタカが確認されている。また、平成6年度調査で猛禽類としてはノスリ、クマタカが確認されている。

「環境資源調査 調査報告」(山梨県森林環境部,2003年3月)によると、旧境川村及び旧中道町においては、表3-2-32に示す種が確認されており、このうちオジロワシは絶滅危惧種Ⅱ類(環境省)に指定されている。

表 3-2-32 鳥類の確認状況（旧境川村、旧中道町）

| 種名 | 科名 | カテゴリー | |
|---------|---------|-------|-----------|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| カラヒワ | アトリ科 | — | — |
| イカル | アトリ科 | — | — |
| アマツバメ | アマツバメ科 | — | — |
| カキクグリ | イワヒバリ科 | — | — |
| カワウ | ウ科 | — | — |
| ウグイス | ウグイス科 | — | — |
| センダムシクイ | ウグイス科 | — | — |
| ヤブサメ | ウグイス科 | — | — |
| エゾムシクイ | ウグイス科 | — | — |
| エナガ | エナガ科 | — | — |
| ジュウイチ | カッコウ科 | — | — |
| ツツドリ | カッコウ科 | — | — |
| マカモ | カモ科 | — | — |
| カルカモ | カモ科 | — | — |
| コカモ | カモ科 | — | — |
| カラス | カラス科 | — | — |
| ハシブトカラス | カラス科 | — | — |
| ハシボソカラス | カラス科 | — | — |
| カワセミ | カワセミ科 | — | — |
| キジ | キジ科 | — | — |
| コジュケイ | キジ科 | — | — |
| コケラ | キツツキ科 | — | — |
| アケラ | キツツキ科 | — | — |
| コケラ | キツツキ科 | — | — |
| バン | クイナ科 | — | — |
| アサギ | サギ科 | — | — |
| ヤマガラ | シジュウカラ科 | — | — |
| シジュウカラ | シジュウカラ科 | — | — |
| ヒガラ | シジュウカラ科 | — | — |
| キセキレイ | セキレイ科 | — | — |
| ハクセキレイ | セキレイ科 | — | — |
| トビ | タカ科 | — | — |
| ノスリ | タカ科 | — | — |
| オシロシ | タカ科 | 情報不足 | 絶滅危惧 IB 類 |
| クロツグミ | ツグミ科 | — | — |
| ツグミ | ツグミ科 | — | — |
| ルビタキ | ツグミ科 | — | — |
| シロハラ | ツグミ科 | — | — |
| ツバメ | ツバメ科 | — | — |
| イワツバメ | ツバメ科 | — | — |
| スズメ | ハタオリトリ科 | — | — |
| キンバト | ハト科 | — | — |
| トバト | ハト科 | — | — |
| チョウゲンボウ | ハヤブサ科 | — | — |
| キビタキ | ヒタキ科 | — | — |
| ヒヨドリ | ヒヨドリ科 | — | — |
| ホオジロ | ホオジロ科 | — | — |
| アオジ | ホオジロ科 | — | — |
| カシラダカ | ホオジロ科 | — | — |
| ミソサザイ | ミソサザイ科 | — | — |
| ムクドリ | ムクドリ科 | — | — |
| メジロ | メジロ科 | — | — |
| モズ | モズ科 | — | — |

資料) 山梨県森林環境部：環境資源調査 調査報告, 2003 年 3 月

鳥類について、山梨県全体の「2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物」（山梨県, 平成 17 年）に掲載されている種（絶滅種及び情報不足の種は除く）を表 3-2-33 に示す。

表 3-2-33 山梨県レッドデータブック掲載種（鳥類、山梨県全体）

| 種 名 | 科 名 | カテゴリー | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| イワシ | タカ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 IB 類 |
| ライチョウ | ライチョウ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| アカショウビン | カワセミ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — |
| クマカ | タカ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 IB 類 |
| コノハズク | フクロウ科 | 絶滅危惧 IB 類 | — |
| チゴモズ | モズ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| ミゾゴイ | サギ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 準絶滅危惧 |
| ブッポウウツ | ブッポウウツ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 IB 類 |
| アカモズ | モズ科 | 絶滅危惧 II 類 | 準絶滅危惧 |
| オコノハズク | フクロウ科 | 絶滅危惧 II 類 | — |
| オシシギ | シギ科 | 絶滅危惧 II 類 | 準絶滅危惧 |
| トリスズク | フクロウ科 | 絶滅危惧 II 類 | — |
| ハイカ | タカ科 | 絶滅危惧 II 類 | 準絶滅危惧 |
| ハクマ | タカ科 | 絶滅危惧 II 類 | 準絶滅危惧 |
| ハヤブサ | ハヤブサ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| ヨタカ | ヨタカ科 | 絶滅危惧 II 類 | — |
| タマシギ | シギ科 | 絶滅危惧 II 類 | — |
| アオハズク | フクロウ科 | 準絶滅危惧 | — |
| オオカ | タカ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| キレンジャク | レンジャク科 | 準絶滅危惧 | — |
| ゴジサシ | カモメ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| コショウケンボウ | ハヤブサ科 | 準絶滅危惧 | — |
| コシアカツバメ | ツバメ科 | 準絶滅危惧 | — |
| コミズク | フクロウ科 | 準絶滅危惧 | — |
| サコウチョウ | カササギヒタキ科 | 準絶滅危惧 | — |
| サンショウクイ | サンショウクイ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| シロドリ | チドリ科 | 準絶滅危惧 | — |
| ツミ | タカ科 | 準絶滅危惧 | — |
| トラツグミ | ツグミ科 | 準絶滅危惧 | — |
| ノゾコ | ホオジロ科 | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| ヒレンジャク | レンジャク科 | 準絶滅危惧 | — |
| フクロウ | フクロウ科 | 準絶滅危惧 | — |
| ミカイツブリ | カイツブリ科 | 準絶滅危惧 | — |
| マジロ | ツグミ科 | 準絶滅危惧 | — |
| シマホシロ | ホオジロ科 | 準絶滅危惧 | — |
| ヨシゴイ | サギ科 | 準絶滅危惧 | — |
| サシバ | タカ科 | 準絶滅危惧 | — |

資料) 山梨県：2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物, 平成 17 年

③ 両生類・爬虫類

「第2回自然環境保全基礎調査」（環境庁, 昭和56年）の動植物分布図によると、対象事業実施区域周辺では調査対象種であるモリアオガエル、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオは確認されていない。

「環境資源調査 調査報告」（山梨県森林環境部, 2003年3月）によると、対象事業実施区域及びその周辺の旧境川村及び旧中道町においては、表3-2-34に示す種が確認されており、このうちイシガメは絶滅危惧種Ⅱ類（山梨県、ただし日本固有種のみ）に指定されている。

表3-2-34 両生類・爬虫類の確認状況（旧境川村、旧中道町）

| 種名 | 科名 | カテゴリー | | |
|-----|------------|--------|-------------------|---|
| | | 山梨県 | 環境省 | |
| 両生類 | カシカガエル | アオガエル科 | — | — |
| | シレーケルアカガエル | アオガエル科 | — | — |
| | タゴガエル | アカガエル科 | — | — |
| | ヤマアカガエル | アカガエル科 | — | — |
| | ウシカガエル | アカガエル科 | — | — |
| | ニホンアカガエル | アマガエル科 | — | — |
| 爬虫類 | イシガメ | イシガメ科 | 絶滅危惧Ⅱ類 (日本固有種) | — |
| | ミシシビアカミミガメ | ヌマガメ科 | — | — |
| | ニホンカナヘビ | カナヘビ科 | — | — |

資料) 山梨県森林環境部：環境資源調査 調査報告, 2003年3月

両生類・爬虫類について、山梨県全体の「2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物」（山梨県, 平成17年）に掲載されている種（絶滅種及び情報不足の種は除く）を表3-2-35に示す。

表3-2-35 山梨県レッドデータブック掲載種（両生類・爬虫類、山梨県全体）

| 種名 | 科名 | カテゴリー | | |
|-----|-----------|----------|--------|---|
| | | 山梨県 | 環境省 | |
| 両生類 | イモリ | イモリ科 | 絶滅危惧Ⅱ類 | — |
| | トノサマガエル | アカガエル科 | 準絶滅危惧 | — |
| | ヒダサンショウウオ | サンショウウオ科 | 要注目種 | — |
| | ナガレタゴガエル | アカガエル科 | 要注目種 | — |
| 爬虫類 | ニホンイシガメ | イシガメ科 | 絶滅危惧Ⅱ類 | — |
| | シマヘビ | ヘビ科 | 絶滅危惧Ⅱ類 | — |

資料) 山梨県：2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物, 平成17年

④ 魚類

「第2回自然環境保全基礎調査」(環境庁, 昭和56年)の動植物分布図によると、対象事業実施区域周辺では、調査対象種であるゼニタナゴは確認されていない。

「山梨県の野生動物」(山梨県, 昭和55年3月)によると、対象事業実施区域周辺の水域の本流である笛吹川においてアブラハヤ、ウグイ、カジカ、コイ、ドジョウ、ナマズ、モツゴが確認されている。

「環境資源調査 調査報告」(山梨県森林環境部, 2003年3月)によると、旧境川村及び旧中道町においては、表3-2-36に示す種が確認されており、このうちカジカ、ヤマメ、アマゴは、絶滅のおそれのある地域個体群(山梨県、いずれも在来個体群のみ)に指定されている。また、スジシマドジョウは絶滅危惧種IB類[小型種]、あるいは絶滅危惧種II類[大型種](環境省)に指定されている。

表3-2-36 魚類の確認状況(旧境川村、旧中道町)

| 種名 | 科名 | カテゴリー | |
|-----------|-------|----------------|----------------------------|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| カジカ | カジカ科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |
| タモロコ | コイ科 | — | — |
| コイ | コイ科 | — | — |
| ギンブナ | コイ科 | — | — |
| アブラハヤ | コイ科 | — | — |
| オイカワ | コイ科 | — | — |
| ウグイ | コイ科 | — | — |
| モツゴ | コイ科 | — | — |
| ニゴイ | コイ科 | — | — |
| ヤマメ | サケ科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |
| アマゴ | サケ科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |
| ドジョウ | ドジョウ科 | — | — |
| スジシマドジョウ | ドジョウ科 | — | 絶滅危惧IB類(小型) 絶滅危惧II類(大型) |
| ナマズ | ナマズ科 | — | — |
| ヨシノボリ SP. | ハゼ科 | — | —※ |

※ヨシノボリ SP.の中には、レッドリストに記載の種がある。

資料) 山梨県森林環境部：環境資源調査 調査報告, 2003年3月

魚類について、山梨県全体の「2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物」（山梨県, 平成 17 年）に掲載されている種（絶滅種及び情報不足の種は除く）を表 3-2-37 に示す。

表 3-2-37 山梨県レッドデータブック掲載種（魚類、山梨県全体）

| 種名 | 科名 | カテゴリー | |
|---------------------------------|-------|----------------|---------|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| ホケド ^レ ジ ^ウ | ドジョウ科 | 絶滅危惧Ⅱ類 | 絶滅危惧ⅠB類 |
| ヤマトイワ (在来個体群) | サケ科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |
| ニッコウイワ (在来個体群) | サケ科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |
| アマゴ ^ノ (在来個体群) | サケ科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |
| ヤマメ (在来個体群) | サケ科 | 絶滅のおそれのある地域個体群 | — |
| カジカ (大卵型 河川型) | カジカ科 | 要注目種 | — |

資料) 山梨県：2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物, 平成 17 年

⑤ 昆虫類

「第2回自然環境保全基礎調査」(環境庁, 昭和56年)の動植物分布図によると、対象事業実施区域の南東側約2~3kmの位置で、調査対象種であるオオムラサキ、アメリカシロヒトリ、キボシカミキリが確認されている。

「環境資源調査 調査報告」(山梨県森林環境部, 2003年3月)によると、旧境川村及び旧中道町においては、表3-2-38(1)~(2)に示す種が確認されており、このうちオオチャバネセセリは準絶滅危惧種(山梨県)に指定されている。

表3-2-38(1) 昆虫類の確認状況(旧境川村、旧中道町)

| 種名 | 科名 | カテゴリー | |
|-------------|---------|-------|-----|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| オカアゲハ | アゲハチョウ科 | — | — |
| カラスアゲハ | アゲハチョウ科 | — | — |
| キアゲハ | アゲハチョウ科 | — | — |
| クオアゲハ | アゲハチョウ科 | — | — |
| ナミアゲハ | アゲハチョウ科 | — | — |
| ホオチョウ | アゲハチョウ科 | — | — |
| シヤカラアゲハ | アゲハチョウ科 | — | — |
| アイノミドリシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| ウラギンシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| エゾミドリシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| オミドリシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| シヨウザンミドリシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| タヤシシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| ツバメシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| フジミドリシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| ベニシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| ミスズイロオカシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| シヤカラシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| メスアカミドリシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| ヤマトシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| ルリシジミ | シジミチョウ科 | — | — |
| アサギマダラ | タテハチョウ科 | — | — |
| イチモンジチョウ | タテハチョウ科 | — | — |
| ウラギンヒョウモン | タテハチョウ科 | — | — |
| コムシジ | タテハチョウ科 | — | — |
| スミカシ | タテハチョウ科 | — | — |
| ヒメウラナミシヤノメ | タテハチョウ科 | — | — |
| ミドリヒョウモン | タテハチョウ科 | — | — |
| アカタテハ | タテハチョウ科 | — | — |
| ゴマダラチョウ | タテハチョウ科 | — | — |
| ツマグロヒョウモン | タテハチョウ科 | — | — |
| ヒメアカタテハ | タテハチョウ科 | — | — |
| ヒメシヤノメ | タテハチョウ科 | — | — |
| ルリタテハ | タテハチョウ科 | — | — |
| キチョウ | シロチョウ科 | — | — |
| スズグロシロチョウ | シロチョウ科 | — | — |
| アオハセセリ | セセリチョウ科 | — | — |
| イチモンジセセリ | セセリチョウ科 | — | — |
| オオチャバネセセリ | セセリチョウ科 | 準絶滅危惧 | — |
| キマダラセセリ | セセリチョウ科 | — | — |
| ダイミョウセセリ | セセリチョウ科 | — | — |
| シヤマセセリ | セセリチョウ科 | — | — |

資料) 山梨県森林環境部: 環境資源調査 調査報告, 2003年3月

表 3-2-38(2) 昆虫類の確認状況（旧境川村、旧中道町）

| 種名 | 科名 | カテゴリー | |
|--------------|----------|-------|-----|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| クロスジアオシヤク | シヤクガ科 | — | — |
| ヒトツメオシロヒメシヤク | シヤクガ科 | — | — |
| ギンモンズメトドキ | シヤチホコガ科 | — | — |
| セダカシヤチホコ | シヤチホコガ科 | — | — |
| ウンモンズメ | スズメガ科 | — | — |
| エゾスズメ | スズメガ科 | — | — |
| エビガラズメ | スズメガ科 | — | — |
| コエビガラズメ | スズメガ科 | — | — |
| コスズメ | スズメガ科 | — | — |
| ヒサコズメ | スズメガ科 | — | — |
| ビロードズメ | スズメガ科 | — | — |
| ブトウスズメ | スズメガ科 | — | — |
| フトオヒソバズメ | スズメガ科 | — | — |
| ヘニスズメ | スズメガ科 | — | — |
| ソバズメ | スズメガ科 | — | — |
| モンソバズメ | スズメガ科 | — | — |
| ニホンセリモトドキ | セセリモドキガ科 | — | — |
| オオヘビロコカ | ヒトリガ科 | — | — |
| サラサヒトリ | ヒトリガ科 | — | — |
| アケビコノハ | ヤガ科 | — | — |
| オニベニシタバ | ヤガ科 | — | — |
| カラスヨトウ | ヤガ科 | — | — |
| コシロシタバ | ヤガ科 | — | — |
| シロシタバ | ヤガ科 | — | — |
| フラスズメ | ヤガ科 | — | — |
| マメキシタバ | ヤガ科 | — | — |
| ムクゲコノハ | ヤガ科 | — | — |
| オスグロトモエ | ヤガ科 | — | — |
| アミメコヤカ | ヤガ科 | — | — |
| キシタバ | ヤガ科 | — | — |
| ゴマケンモン | ヤガ科 | — | — |
| ハグルマトモエ | ヤガ科 | — | — |
| クスサシ | ヤママユガ科 | — | — |
| シジユサシ | ヤママユガ科 | — | — |
| オニヤンマ | オニヤンマ科 | — | — |
| ギンヤンマ | ヤンマ科 | — | — |
| アブラゼミ | ゼミ科 | — | — |
| チツゼミ | ゼミ科 | — | — |
| ツツクホウシ | ゼミ科 | — | — |
| ミンミンゼミ | ゼミ科 | — | — |
| テントウムシ | テントウムシ科 | — | — |
| カンタン | マツムシ科 | — | — |

資料) 山梨県森林環境部：環境資源調査 調査報告, 2003 年 3 月

昆虫類について、山梨県全体の「2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物」（山梨県, 平成 17 年）に掲載されている種（絶滅種及び情報不足の種は除く）を表 3-2-39 に示す。

表 3-2-39 山梨県レッドデータブック掲載種（昆虫類、山梨県全体）

| 種名 | 科名 | カテゴリー | |
|---------------|----------|-----------|-----------|
| | | 山梨県 | 環境省 |
| オウレンヒョウモン | タテハチョウ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 I 類 |
| ヒョウモンモドキ | タテハチョウ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 I 類 |
| フサヒゲルリカミキリ | カミキリムシ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 I 類 |
| ハチョウトンボ | トンボ科 | 絶滅危惧 IA 類 | — |
| タガメ | コオイムシ科 | 絶滅危惧 IA 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| チャマダラセセリ | セセリチョウ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 I 類 |
| ホシチャハネセセリ | セセリチョウ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| ツマグロキチョウ | シロチョウ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| クシジミ | シジミチョウ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 I 類 |
| シルビアシジミ | シジミチョウ科 | 絶滅危惧 IB 類 | 絶滅危惧 I 類 |
| ヒメシロチョウ | シロチョウ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| ゴマシジミ | シジミチョウ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| ミヤマシジミ | シジミチョウ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| コヒョウモンモドキ | タテハチョウ科 | 絶滅危惧 II 類 | 絶滅危惧 II 類 |
| シダクサロキハネセセリ | セセリチョウ科 | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| アカセセリ | セセリチョウ科 | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| オチヤハネセセリ | セセリチョウ科 | 準絶滅危惧 | — |
| キアゲハ | アゲハチョウ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| クモツマキチョウ | シロチョウ科 | 準絶滅危惧 | 準絶滅危惧 |
| ミヤマシロチョウ | シロチョウ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| カラスシジミ | シジミチョウ科 | 準絶滅危惧 | — |
| コヒョウモン | タテハチョウ科 | 準絶滅危惧 | — |
| クロヒゲモドキ | ジャノメチョウ科 | 準絶滅危惧 | 絶滅危惧 II 類 |
| サキマダラヒカゲ | ジャノメチョウ科 | 準絶滅危惧 | — |
| ヨボシカミキリ | カミキリムシ科 | 準絶滅危惧 | — |
| トラフカミキリ | カミキリムシ科 | 準絶滅危惧 | — |
| ヒゲナカゴフカミキリ | カミキリムシ科 | 準絶滅危惧 | — |
| チョウトンボ | トンボ科 | 準絶滅危惧 | — |
| ミナトシジミ(シジミセメ) | セミ科 | 要注目地域個体群 | — |
| タネキマダラセセリ | セセリチョウ科 | 要注目種 | 準絶滅危惧 |
| ヒサマツミドリシジミ | シジミチョウ科 | 要注目種 | — |
| キリシマミドリシジミ | シジミチョウ科 | 要注目種 | — |
| オムラサキ | タテハチョウ科 | 要注目種 | 準絶滅危惧 |
| オヒカゲ | ジャノメチョウ科 | 要注目種 | 絶滅危惧 II 類 |
| キマダラモドキ | ジャノメチョウ科 | 要注目種 | 準絶滅危惧 |
| キハカダヒロハカミキリ | カミキリムシ科 | 要注目種 | — |
| フタスミカダヒロハカミキリ | カミキリムシ科 | 要注目種 | — |
| アカシオアオカミキリ | カミキリムシ科 | 要注目種 | — |
| アサカミキリ | カミキリムシ科 | 要注目種 | — |
| アオハダトンボ | カワトンボ科 | 要注目種 | — |
| ムカシトンボ | ムカシトンボ科 | 要注目種 | — |
| ササヤンマ | ヤンマ科 | 要注目種 | — |
| ヤブヤンマ | ヤンマ科 | 要注目種 | — |
| マルタンヤンマ | ヤンマ科 | 要注目種 | — |
| オキヤンマ | ヤンマ科 | 要注目種 | — |
| トラフトンボ | エゾトンボ科 | 要注目種 | — |
| フジシロミヤクオトウ | ヤガ科 | 要注目種 | 準絶滅危惧 |
| ソウクオヒナミヤク | シャクガ科 | 要注目種 | — |
| ゲンゴロウ | ゲンゴロウ科 | 要注目種 | — |
| オクワカダ | クワガタムシ科 | 要注目種 | 準絶滅危惧 |
| ヒラタワカダ | クワガタムシ科 | 要注目種 | — |
| ゴボクイコクガネ | コガネムシ科 | 要注目種 | — |
| クワムシ | キリギリス科 | 要注目種 | — |
| オコツアリ | アリ科 | 要注目種 | — |

資料) 山梨県：2005 山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物, 平成 17 年

5) 景 観

対象事業実施区域及びその周辺は、御坂山地から流れ出る河川によって形成された複合扇状地が、変位を受けて形成された丘陵地(曾根丘陵)にあたり、丘陵地が開拓された農村景観を呈している。

景観構成要素としては、田畑、果樹園及び住宅地などの人工的要素と、背後に広がる樹林地、また対象事業実施区域周辺を流れる間門川、蟹沢川など自然的要素が混在し形成されている。

また、「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図」(環境庁,平成元年)によると、図3-2-16に示すとおり対象事業実施区域及びその周辺には自然景観資源は分布していない。

さらに、「文化財保護法」等に基づく指定文化財(名勝)も、対象事業実施区域及びその周辺には存在していない。

6) 人と自然との触れ合い活動の場

対象事業実施区域及びその周辺における人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況を表3-2-40、図3-2-18に示す。

対象事業実施区域の周辺には、公園やアウトドア施設などが分布しているが、対象事業実施区域内には主要な人と自然との触れ合いの活動の場は分布していない。

なお、笛吹市にはレクリエーションの場として、散策コースが設定されている地域があるが、対象事業実施区域周辺には存在していない。

表3-2-40 人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

| 名 称 | 種 別 | 概 要 |
|----------------|-----------|---|
| 甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園 | 公園、施設 | 花の広場、展望広場、ふれあい広場、歴史植物園、日本庭園、古墳、考古博物館、バーベキュー場等、利用期間4~10月 |
| 藤壘の滝 | 自然公園 | 公園、滝、駐車場、ミズバショウ |
| 心のふるさと境川 | 歴史文化公園 | 遺跡、文化財 |
| 左右口の里 | 施設 | 釣り堀、バーベキュー場、バンガロー、民芸館 |
| 坊ヶ峯展望台 | 展望台 | 展望台・テレビ塔 |
| 黒坂オートキャンプ場 | キャンプ場 | 林間のオートキャンプ場、営業日3~12月 |
| 八代ふるさと公園 | 公園 | 桜の森、古墳広場、多目的広場、親水広場 |
| 鶯宿峠 | 山岳 | 登山、散策。甲府盆地や八ヶ岳・南アルプスが一望できる。 |
| 滝戸山 | 山岳 | 登山、散策。 |
| 小瀬スポーツ公園 | 運動公園 | 陸上競技場、球技場、野球場、プール、アイスアリーナ、武道館、芝生広場 |
| 笛吹川サイクリングロード | サイクリングロード | 自転車道 |

資料) 笛吹市ホームページ 観光地図情報

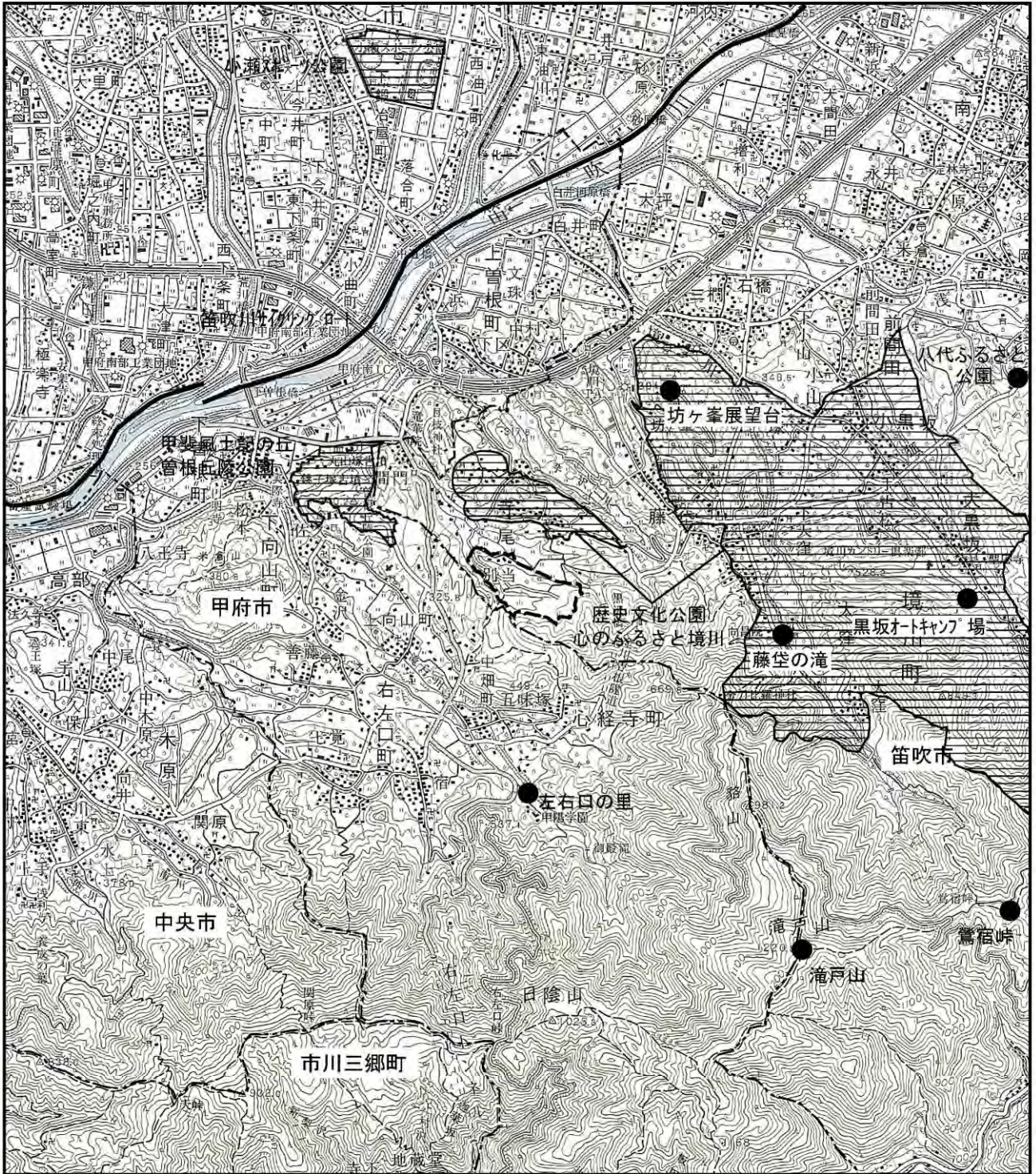
(<http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/kanko/shisetsu.php>)

甲府市ホームページ 甲府市観光ガイド





(<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/kanko/index.htm>)

富士の国やまなし観光ネット

(<http://www.yamanashi-kankou.jp/index.html>)



資料) 甲府市ホームページ、笛吹市ホームページ、富士の国やまなし観光ネット

| 凡 例 | |
|---|---------------------|
|  | 対象事業実施区域 |
|  | 行政界 |
|  | 人と自然との触れ合い の活動の場 |
|  | |



S=1:50000

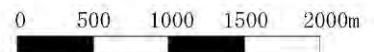


図3-2-18 人と自然との触れ合いの活動の場

7) 歴史的・文化的環境

① 指定文化財の状況

対象事業実施区域及びその周辺における指定文化財の状況を表 3-2-41 及び図 3-2-19 に示す。

対象事業実施区域に最も近い指定文化財としては、北側約 500m に桑原家文書があるが、書跡であって対象事業による影響を受けるものではない。

表 3-2-41 対象事業実施区域及びその周辺の指定文化財

| 市 | 指定 | 分類 | No. | 名称 | 所在地 | 所有者・管理者 | |
|-----|------------|-------|-----|-----------------------|-----------------------|-------------|------|
| 笛吹市 | 県 | 考古資料 | 1 | 地藏堂塚古墳出土の蕨手刀 | 境川町三柵 3 | 境川総合会館 | |
| | | 書跡 | 2 | 桑原家文書 | 境川町寺尾 3147-1 | 個人 | |
| | | 彫刻 | 3 | 木造虚空蔵菩薩坐像 | 境川町藤袋 322 | 智光寺 | |
| | | 天然記念物 | 4 | 智光寺のカヤ | 境川町藤袋 322 | 智光寺 | |
| | | | 5 | 宗源寺のヒダリマキカヤ | 境川町藤袋 4771 | 宗源寺 | |
| | | | 6 | 藤袋のヤツブサウメ | 境川町藤袋 161 | 個人 | |
| | 市 | 建造物 | 7 | 常楽寺の五輪塔 | 境川町藤袋 2446 | 常楽寺 | |
| | | 絵画 | 8 | 諏訪南宮神社の扉絵 | 境川町寺尾 4023 | 諏訪南宮神社 | |
| | | 彫刻 | 9 | 木造十一面観世音立像 | 境川町藤袋 2446 | 常楽寺 | |
| | | 書跡 | 10 | 三柵熊野神社武田信縄の禁制 | 境川町三柵 932 | 三柵熊野神社 | |
| | | 古文書 | 11 | 武田信玄祈願状 | 境川町寺尾 4023 | 諏訪南宮神社 | |
| | | 史跡 | 12 | 牛居沢の窯跡 | 境川町藤袋 48-6858-13 | 個人 | |
| | | 天然記念物 | 13 | 藤袋のナシ | 境川町藤袋 139-2 | 個人 | |
| 甲府市 | 国 | 考古資料 | 1 | 深鉢形土器 | 中道町下曾根 923 | 山梨県 | |
| | | | 2 | 一の沢遺跡出土遺物一括 | 中道町下曾根 923 | 山梨県立考古博物 | |
| | | 史跡 | 3 | 銚子塚 附丸山塚古墳 | 中道町下曾根 | 山梨県 | |
| | 県 | 彫刻 | 4 | 木造釈迦如来坐像 | 中道町心経寺 1204 | 安国寺 | |
| | | | 5 | 木造役行者及び二鬼像 | 中道町右左口 4104 | 円楽寺 | |
| | | 考古資料 | 6 | 銚子塚古墳出土埴輪 | 中道町下曾根 923 | 山梨県 | |
| | | | 7 | 木製農具、木製剣、皮綴部材 | 中道町下曾根 923 | 山梨県 | |
| | | | 8 | 立石遺跡出土品 | 中道町下曾根 923 | 山梨県 | |
| | | | 9 | 丘の公園第二遺跡出土品 | 中道町下曾根 923 | 山梨県 | |
| | | | 10 | 丘の公園一四番ホール遺跡出土 | 中道町下曾根 923 | 山梨県 | |
| | | | 11 | 稲荷塚古墳出土、銅鏡・象嵌太刀等出土品一括 | 中道町下曾根 923 | 山梨県 | |
| | | | 12 | 容器形土偶 | 中道町下曾根 923 | 山梨県 | |
| | | | 13 | 右左区有文書及び関連資料一括 | 中道町右左口 95 | 中道町宿区 | |
| | | 天然記念物 | 14 | 兄川から出土したナウマン象等の化石 | 中道町下曾根 923、山梨市小原西 955 | 山梨県、山梨市 | |
| | | (町) | 建造物 | 15 | 佐久神社本殿 | 中道町下向山 1639 | 佐久神社 |
| | | | 彫刻 | 16 | 敬泉寺十一面観音立像 | 中道町右左口 64 | 敬泉寺 |
| | | | | 17 | 實際寺厨子入三尊像 | 中道町下曾根 161 | 實際寺 |
| | 18 | | | 右左口人形及び関連衣装 | 中道町右左口 334 | 宿区 | |
| | 有形文化財 | | 19 | 五味家の民具 | 中道町右左口 3808 | 個人 | |
| | | | 20 | 安福寺の舟乗り地藏 | 中道町下向山 1650 | 安福寺 | |
| | | | 21 | 右左口人形浄瑠璃台本 | 中道町右左口 420 | 個人 | |
| | | | 22 | 円楽寺の経筒及泥塔 | 中道町右左口 4104 | 円楽寺 | |
| | 歴史資料 典籍 | | 23 | 般若心経 1 巻 | 中道町上曾根 4042 | 龍華院 | |
| | | | 史跡 | 24 | 中道往還と一里塚 | 中道町上曾根 2846 | 個人 |
| | 25 | | | 天神山古墳 | 中道町下向山 4137 | 個人 2 名 | |
| | 天然記念物 | | 26 | 伝 板額御前の供養塚 | 中道町上向山 269 | 個人 | |
| | | | 27 | 円楽寺のイチョウ | 中道町右左口 4104 | 円楽寺 | |
| | | | 28 | 王子権現の大サクラ | 中道町右左口 4513 | 王子権現 | |

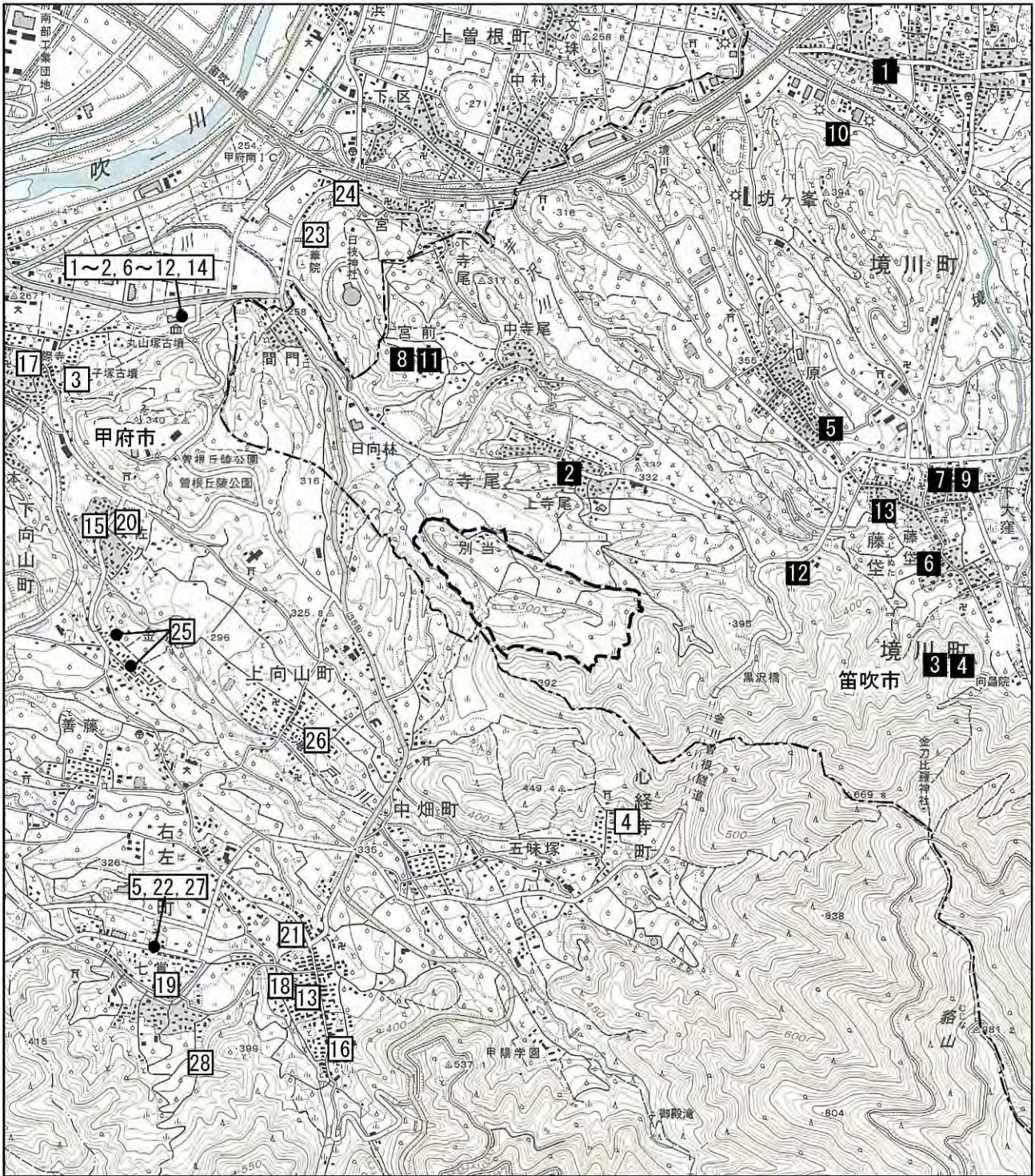
注 1) 表中のNo.は、図 3-2-19 と対応する。

注 2) 甲府市における (町) 指定は、旧中道町において指定されたものであり、現甲府市としては現在見直し中である。

資料) 笛吹市：笛吹市文化財ガイドマップ

甲府市：中道町内指定文化財概要

山梨県ホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp/pref/index.jsp>



資料) 笛吹市：笛吹市文化財ガイドマップ
 甲府市：中道町内指定文化財概要
 山梨県ホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp/pref/index.jsp>

| 凡 例 | |
|-----|-------------|
| | 対象事業実施区域 |
| | 行政界 |
| | 指定文化財(笛吹市内) |
| | 指定文化財(甲府市内) |



S=1:25000

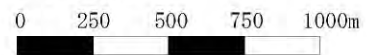


図3-2-19 対象事業実施区域及びその周辺の指定文化財位置図

② 埋蔵文化財包蔵地

対象事業実施区域及びその周辺における周知の埋蔵文化財包蔵地位置図を図 3-2-20 に示す。

対象事業実施区域には、周知の埋蔵文化財として、表 3-2-42 に示す馬場遺跡、前付遺跡、大祥寺遺跡が分布している。

また、対象事業実施区域周辺にも、数多くの集落跡、散布地、古墳などが分布している。

表 3-2-42 対象事業実施区域における周知の埋蔵文化財包蔵地

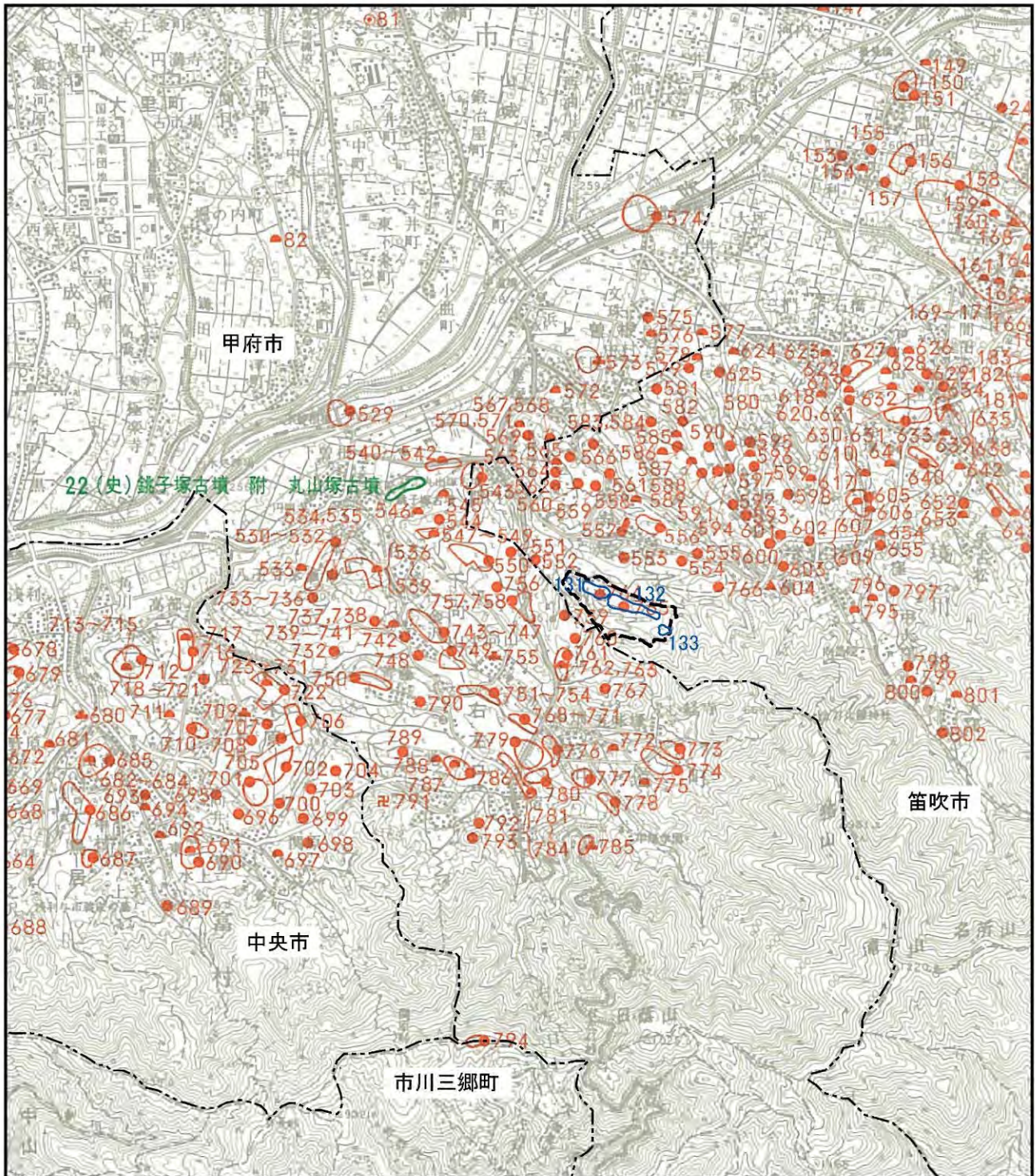
| 番号 | 名 称 | 種 類 |
|-----|-------|-----|
| 131 | 馬場遺跡 | 散布地 |
| 132 | 前付遺跡 | 散布地 |
| 133 | 大祥寺遺跡 | — |

注) 表中の番号は、図 3-2-20 の青字の番号と対応する。

資料) 境川村：境川村遺跡分布地図, 1998 年

(財)国土地理協会：全国遺跡地図 19 山梨県, 昭和 56 年

なお、対象事業実施区域における試掘調査の結果、ごみ処理施設の範囲においては、出土品が確認されたため、工事着手前に本掘を行う予定である。最終処分場の範囲においては、試掘調査の結果、出土品は確認されなかった。



注1) 平成16年10月12日,平成18年8月1日に旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧春日居町、旧芦川村が合併し笛吹市となっている。
 注2) 平成18年3月1日に旧甲府市、旧中道町、旧上九一色村の一部が合併し甲府市となっている。
 注3) 平成18年2月20日に旧玉徳町、旧田富町、旧豊富村が合併し中央市となっている。
 注4) 平成17年10月1日に旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町が合併し市川三郷町となっている。
 出典1) (財)国土地理協会：全国遺跡地図 19 山梨県,昭和56年
 出典2) 境川村：境川村遺跡分布地図,1998年

| 凡 例 | |
|-----|------------------|
| | 対象事業実施区域 |
| | 行政界 |
| | 国指定史跡名勝天然記念物 |
| | 集落跡、貝塚、散布地、洞穴遺跡等 |
| | 古墳、横穴等 |
| | 都城、城柵、官衙等 |
| | 城、館等 |
| | 寺院 |
| | 窯、たたら等 |
| | その他 |

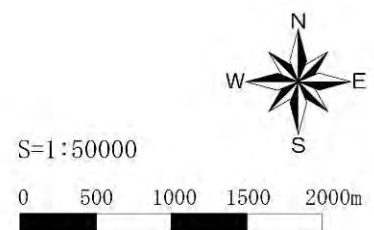


図3-2-20 周知の埋蔵文化財包蔵地位置図

8) その他の事項

(1) テレビジョン電波

対象事業実施区域及びその周辺を対象とするテレビジョン放送局は、図 3-2-21 に示す甲府局（アナログ、デジタル）及び甲府南局（アナログ：親局は甲府局）がある。各放送局の概要は表 3-2-43 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周辺は、甲府局及び甲府南局から受信している状況である。

表 3-2-43 テレビジョン放送局概要

| 局名 | 系 統 | 親局 | 送信 チャンネル | 出力 (W) | ERP (W) | 送信空中線 海拔高 (m) | 送信空中線 | |
|---------------|-------------|----|-------------|-----------|------------|------------------|-----------|----------|
| | | | | | | | 東経 | 北緯 |
| 甲 府 (デジタル) | G (NHK 総合) | — | 21 | 2k | 16.0k | 444.5 | 138.36.48 | 35.35.54 |
| | E (NHK 教育) | — | 23 | 2k | 16.0k | 444.5 | 138.36.48 | 35.35.54 |
| | YBS (山梨放送) | — | 25 | 2k | 14.0k | 442.8 | 138.36.46 | 35.35.55 |
| | UTY (テレビ山梨) | — | 27 | 2k | 14.5k | 432.7 | 138.36.44 | 35.35.58 |
| 甲 府 (アナログ) | G (NHK 総合) | — | 01 | 3k | 16.0k | 447.6 | 138.36.49 | 35.35.50 |
| | E (NHK 教育) | — | 03 | 3k | 15.5k | 429.5 | 138.36.49 | 35.35.50 |
| | YBS (山梨放送) | — | 05 | 3k | 17.5k | 429.6 | 138.36.46 | 35.35.55 |
| | UTY (テレビ山梨) | — | 37 | 10k | 91k | 432.7 | 138.36.44 | 35.35.58 |
| 甲府南 (アナログ) | G (NHK 総合) | 甲府 | 01 | 30 | 1.10k | 396 | 138.34.11 | 35.35.06 |
| | E (NHK 教育) | 甲府 | 03 | 30 | 1.10k | 396 | 138.34.11 | 35.35.06 |

資料) 日本放送協会・(財) 日本民間放送連盟監修：全国デジタルテレビジョン放送局一覧，(株) NHK アイテック，2010年7月
日本放送協会・(財) 日本民間放送連盟監修：全国アナログテレビジョン放送局一覧，(株) NHK アイテック，2009年7月

(2) 公害苦情件数

「平成 22 年版 やまなしの環境 2010」(山梨県,平成 23 年 2 月)によると、平成 21 年度における甲府市、山梨市、笛吹市、甲州市の公害苦情受理件数は表 3-2-44 に示すとおりであり、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭に関する苦情がある。

また、「平成 22 年版 やまなしの環境 2010」(山梨県,平成 23 年 2 月)によると、山梨県における苦情の発生源は、野焼き(焼却)が 233 件(27.5%)と最も多く、次いで廃棄物投棄が 167 件(19.7%)、家庭生活(ペット、機器など)が 65 件(7.7%)、自然系が 53 件(6.3%)、以下、流出・漏洩、産業用機械作動、工事・建設作業、産業排水と続く結果であった。

表 3-2-44 公害苦情件数(平成 21 年度)

| 市町村 | 大気汚染 | 水質汚濁 | 土壌汚染 | 騒音 | 振動 | 地盤沈下 | 悪臭 | 小計 | 7 公害以外 | 合計 |
|-----|------|------|------|----|----|------|----|-----|--------|-----|
| 甲府市 | 73 | 33 | 1 | 22 | 2 | 0 | 39 | 170 | 33 | 203 |
| 山梨市 | 17 | 7 | 2 | 2 | 0 | 0 | 4 | 32 | 33 | 65 |
| 笛吹市 | 5 | 15 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 | 30 | 11 | 41 |
| 甲州市 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 5 | 5 | 10 |
| 合計 | 97 | 55 | 4 | 25 | 2 | 0 | 54 | 237 | 82 | 319 |

資料) 山梨県：平成 22 年版 やまなしの環境 2010,平成 23 年 2 月